

大阪拘留所への抗議行動で

(直接行動期は別頁を参照せよ)

3月X日、后一時、大拘正門前で
面会者へのビラまき。三人で。

50すぎの、昨日きたおばさん。

娘が入っている。娘は男にだまされて子供がでさ、あうす金がほしくて窃盗。未遂。前科があるのて出してもらえへん。弁護士が何やかや言うて、お金とりにくる。千円盗んでも弁護士費用が三〇万もいる。何でもお金のせの中や。

ここはおソロシイことや。まえに息子がはいつてた。もう二年もまをや。出てきたときは、あちこち傷だらけで、三日後に死んだ。： 差入屋のじじいが、あんたらのビラをみて、こんなことしては何にもならん。もみけしに決つるとぬかしやがった。もみ消しとは一体どんなことや。そんなことが許されてエエンか。息子は暴力をふるつたよつてここへ入れられた。そやのにこの人間が暴れるつて、なぐり殺してエエンか。お金があつたら、東京へいつて三

木さんにも誰にでも持つていく。やくざの兄さん。ビラをみて。い

がなばれよな。応援したるからナ、わしや俺田や。こんなことなんぼでもある。わしらが一番やられるんや。みんな泣きぬ入りや。

3月X日、宣伝カーにのる。守犯が10人位出て来た。若い子情つ子みたいのが写真をパチパチとる。怒からのぞきこむようにして、罔々しい。マイクで何をいつても蛙のつらに小便という感じ。それをみてるおぼんとに何かコテンパンにのしてやるこ

とができたかと思つてしまふ。移動して中の島の前役所まえに車をとめて、ひとしきりマイク。

ビラも配つたが殆ど受取らない。同じ場所と同じことばかりなつていてイヤになつちやう。それにして

もこの市民の無反応ぶりと冷淡さ。何か善良な市民だ。体制そのもの権力のカイライ。いつに、一般の市民とか、あたりまえの、普通の人間

というものが、その言葉通りのもの

として、ありうるのだからか。

：車の中からみまると、みんなこちらを見ているようには気がするが逆の立場でたると、おそろくこちらのアピールはあまり耳に入つていないだろうな。今日は私一人だけやつたので、のどが痛くなつてしまつた。

それにしてモフリー号はどんなときもマイクを使用しない。一人一人にていねいに話かける。ひとつひとつのやり方において私自身は、どんなさやかなことでも直接行動を怠えていかねばならぬの

に、抗議は、直接行動でありうるかどうか。

4月X日 中年のおばさん。

ああ、この人政治犯でしょう。そらあかんわ。ここはオトナシク何でもハイハイ言うてたらエエけどちよつとでも文句いうたら百倍千倍にして仕返しをしよりますのや。

それにな、大阪拘留所いうところはエライお金のいるところだつせ。お金使つて、着手のおぼえをえ好うしておいたら、ほれ私なんが、今

ウリ事務所の活動はへ通信による以外にありません。そのために通信用切手が

事務所より

直接行動・創刊号のできはとうでした。表紙の印刷をのぞいて全部自家労働力の手づくり。10日の朝10時に、ついでに裁断屋へもつていつてくれるという入事務者渡せし発行のAさんの時間にもありすため、一睡みせず製本表紙つけをやりました。三百部やると親指・人差指(つぎに中指)かはれあがつて、ちよつと触れても痛いしまつ。ふう君がその役に交替して、また同じ。ねむいので何となく流れがゆつくりなつてゐるのに、バツに停滯してゐない、とみるとう君の手も、うとうと；おもわず突い出したりしました。大げさに云へば、直接行動は、必死？のおさいで生み落した、WRの赤ん坊。可愛がつて育てて下さい。その一冊一冊が私たちにこつては、大切な愛し子です。

必死のおさいと云へば労働だけでなく、財政的に果してと

いう愛もありました。ガ、おかげで二号も出せそうな態勢です。

WR一よびかけ試案をサルトンで出した一月廿日以降、四月二六日までのWR工事務所の収支は、概算 収入(一五三、三〇〇円)内ベルギーへ送金引当分三〇、〇〇〇円、WR工事務所の活動用(三、〇〇〇円、直接行動発行)引当二二、三〇〇円(但し切手も含む)支出 ニュースレター・リハ号発行に直接行動製作者、照会委員送料切手代七五〇円計一五三、三〇〇円(直接行動創刊号は表紙代をAさんがカバーして下さつて、それ以外は切手代がすくなくつてゐます。収支は、タイプを貸してあつて印刷製本をたのむので製作者が大分かゝる) なお創刊号は、メンバー支持者はらびに千円送付の申込者には全部二冊宛お送りし、ウニタ・模索会など東京、大阪、京都、神戸、札幌、金沢に計八〇冊ほど委託に出し、手許に現在80冊ほどのし全部を家購(二冊宛)しました。あと三〇〇冊位はもし有知に頼んで下さるなら寄贈に送ります。連絡下さい。

直接行動の創刊号を媒介にして

あなたの仲間をつくらせて下さい。念をおすまでもなく、WRの仲間だけでなく、あなたの仲間を二冊お送りした一冊がそのために役立つなら、この上ないよろこびです。そしてそのためにこそ私達はこれをつくり出したのです。

WR工事務所では、朝日新聞の社内へ郵便ケリラのの記事が刷りこんだメモを使つてゐます。紙代送料費程度のものを切手でカンパして下さるかへ下さらなくても申し出て下されば、差上げます。メンバーへの働き(レター11号)にのつとつて、大いに活用を。

直接行動をよんでのひとこと、ハガキでも、おまちしてゐます。

WR工大阪の事務所では毎週土曜午後一時〜十一時頃まで読者会・夕會会・雑談会をやつてゐます。毎週きてもなくとも勝手。多くて十人。すくなくとも五人。女性80%。だれでもどうぞ。5月1日も誰かがきてやつてる筈。